



第17回テキサス州 六者交流会開催

@オースティン

AUSTIN



六者交流会 懇親会

11月2日・3日オースティンに於いてテキサス州六者交流会が開催されました。六者交流会(通称「六者会」とは、テキサス州の六都市 - ダラス・ヒューストン・サンアントニオ・エルパス・マッカーレン・オースティン - の日本人会・日本商工会関係者が年に一度各都市持ち回りで開催している親睦会です。最初はダラス・ヒューストンの二者交流会として始まり、後年他の都市が加わり現在の六者交流会となったと聞いています。

オースティンには他の都市にあるような日本人会や日本商工会が存在しません(注:オースティン日本人会(AJA)が存在しますが、テキサス大学オースティン校のMBA留学生が中心の組織)。そのため今回のオースティンでの開催にあたり、まず実行グループを立ち上げる必要があり、私の勤める東京エレクトロンの他、三菱重工・日本語補習校・オースティン日本人会の皆さんに声をかけ、総勢10名の実行委員会を発足させました。

最初の会合を持ったのは3月末、場所はスターバックスでした。この最初の会合で初めて会ったメンバーも少なくなく、また、メンバーの大半が六者会への参加経験がなかったため、まず六者会とは何か、過去に他の都市がどのように開催してきたのか、さらに6年前の初めてのオースティン六者交流会での経験(この時はオースティンコミュニティではなく東京エレクトロンが単独に開催)も交えて、「六者会」のイメージを共有することから始めました。開催母体のないオースティンとしては「背伸びをせず身の丈にあったシンプルな交流会」の方針のもと、三菱重工さんの会議室をお借りして3週間に一度程度のペースで会合を重ね企画を練りました。昨年開催のマッカーレンの皆さんの経験を参考に、ホテル・イベント・ゴルフの3つの担当を分けましたが、会場探しやイベントなど全員でアイデアを出し合い、話し合いを行って少しずつ企画・準備を進め当日に臨みました。

まずはオースティン名物の水陸両用バスによる観光ツアー「ダック・アドベンチャー・ツアー」で、2台の水陸両用車に分乗してオースティンのダウンタウンの名所を巡った後、Lake Austinの湖上を遊覧しました。私も含め当地に長年住んでいる運営委員会でも誰も乗ったことがなかったもので、我々自身にとっても貴重な経験でした。続いてオースティンを中心に活躍中の日本人女性ジャズドラマー、Masumi Jonesさんのバンドの演奏を楽しみながらのレセプションのち、初日のメイン行事である懇親会の開催となりました。山本総領事のご挨拶と当意即妙な質疑応答のち、テキサス大学神経生物学科准教授の森川均先生に、「脳の研究とお金」にまつわる興味深く大変ユーモラスな講演をいただきました。最後に恒例の各都市からの発表があつて、お開きとなりました。

翌土曜日は名門バートンクリークのクレンショー・クリフサイドコースでゴルフ大会が開催されました。午前8時のショットガンスタートの時にはまだ霧が出ていましたが、間もなく前週の寒波とは打って変わった晴天に恵まれました。難しいコースでしたが、ヒューストンから参加のJTB USA, Inc.の石井さんが見事優勝され、2位・3位はダラスからの参加者で、1位から3位をヒューストン・ダラスの2大都市が独占する結果となりました。

運営母体の無いオースティンで皆様の満足のゆくような開催ができるか心配でしたが、実行委員各位、特に3人の女性メンバーの方々の献身的な努力と貢献により、また参加各位からの多数のゴルフ景品の寄付を含めて多大なご協力をいただいた結果、無事開催の大任を果たすことができましたこと厚くお礼申し上げます。来年はサンアントニオで皆様に再会することを楽しみにしております。

オースティン六者交流会実行委員長
谷津純一郎



ダック・アドベンチャー・ツアー



Masumi Jonesさんのバンド演奏



ゴルフ大会 於:バートンクリーク

目次

- | | | | |
|--------------------|--------------------|--------------------------|------------------------------|
| 1... テキサス六者交流会 | 4... 婦人部だより | 7... 社会科見学・Showing Japan | 10... 駐妻日記・知っとな物語 |
| 2... 商工会理事委員会議事録 | 5... 日米協会Gala・日本人会 | 8... テキサス会・現地校情報 | 11... Travel in the U.S.A. |
| 3... 会員消息・いいことやっとな | 6... 補習校社会科見学 | 9... テキサス・メディカル最前線 | 12... トライアスロン・Houston Walker |

平成24(2012)年 11月度 商工会理事委員会 議事録

日 時:平成24年11月21日(水)11:30~15:20

場 所:住友商事社 会議室(10階)

出席者:名誉会長、名誉会員1名、理事委員12名 事務局員(事務局
長代理)

欠席者:理事委員8名(会長委任8名)

司 会:石井光幹事

1. 商工会会長連絡(岡野夏井会長)

新年度の1ヶ月半の商工会活動のレビュー。改めて様々な活動・調整があることを知り、関係の皆様感謝するとともに、今後も支援をお願いしたい。接戦の末オバマが再選されたが、2期目に於いて金融・環境・エネルギー・インフラ等の経済政策をどう打ち出すか、本邦企業の事業にも影響を及ぼす注目点。世界の景況感及び日本の先行きに不安も拭いきれないが、ホットな我々ヒューストン発で少しでも日本を元気にしていきたい。

2. 総領事館連絡(山本条太総領事)

①10月19日、日米桜寄贈100周年を記念してハーマンパークで桜の苗木の植樹式を行い、11月17日にはフォートワースでも寄贈式を実施した。商工会初め日系団体の支援に感謝。

②衆議院議員総選挙の実施に伴いヒューストン総領事館でも12月5日(水)~8日(土)の午前9時30分~午後5時までの間、在外公館投票を行うことができるので、総領事館ホームページ等での案内に注意願いたい。

③天皇陛下誕生日祝賀のレセプションは、12月中頃の実施を予定している。

3. テキサス州六者交流会終了報告(土光辰夫第一副会長)

開催日:2012年11月2日(金)・3日(土)

開催場所:オースティン

合計81名の参加者(ヒューストンからは22名参加)

1日目 市内観光(Duck Tour他)、講演会、懇親会

2日目 ゴルフ

オースティンに商工会組織はないが、日系企業の有志を中心に実行委員会をつくり実施に至った。テキサス大のある学術都市らしく、脳科学者 森川博士による講演会が行われた。懇親会では各地区より現状報告がなされた。マッカーレンやエルパソは治安の問題から日系企業が減少傾向。ヒューストンとダラスは比較的元気がいいが、尖閣問題のデモが行われる、日系企業は増えているが会員は増えないなどの問題がある。同じテキサスでも各地域が抱える問題は様々であることがわかった。それぞれの都市の商工会が連携し、横の交流を深める事、日本人らしいネットワークを育てていくことが重要と痛感。

4. 他団体関連報告(直木純二郎特命理事)

①日本庭園清掃ボランティア活動終了報告

開催日:2012年11月17日(土)午前9時~正午

開催場所:Hermann Park

40名のボランティア(内5名が日本人以外)が参加し、落ち葉集めや蜘蛛の巣とり、女性は茶室の清掃など広い敷地内を手分けして清掃活動を行った。春と秋2回の清掃活動に加え、日本庭園は毎日2名のスタッフが手入れをしている。しかし、手入れが十分に追いつかず、木の剪定や植木の剪定などを、素人の方でも構わないのでお手伝いいただける方を広く募りたい。

②日米協会Gala終了報告

開催日:2012年11月10日(土)

開催場所:Omni Hotel

約300名の参加者があり、総領事からのご挨拶、ファッションショー、サ

イレントオークションなどが行われた。ヒューストンで活躍された日本人として、上野前会長が表彰された。このGALAは、お金を集める事だけでなく、日米協会が何をしているかを米人に広く知っていただきたいとの趣旨で開催された。各企業や個人からの寄付で16万5千ドルの収益があった。これが3年間の活動資金となる。

5. 委員会・部会関連事項

①スポーツ委員会(石井幹事:藤井一彦委員長代理)

* 第544回テキサス会ゴルフ「商工会会長杯」開催について

開催日:2012年11月11日(日)

開催場所:The Golf Club at Cinco Ranch

参加者数 53名 優勝者 ヤマト運輸 牧山様

過ごしやすい天気恵まれ高スコアが続出。皆さん楽しくプレーしていただいた。又、各社より多数の賞品のご寄付も頂き、表彰式を盛り上げる事が出来た。次回第545回テキサス会は総領事杯とし4月頃に行う予定。幹事は運輸・サービス・金融・貿易部会。

②教育委員会(森俊之教育委員長)

* 活動報告

運動会:10月20日 天候に恵まれ先生方の段取りも良く滞りなく終了

社会見学:11月3日 株式会社 東芝 工場見学 小3対象

課題: 教員不足。事情で先生が退職された際に備えて、ある程度人材を確保しておきたい。ついては、興味を持っておられる方(できれば教員免許所持者)へのお声掛けをお願いしたい。

③婦人部委員会(岡野会長:岡野真貴子委員長代理)

* 活動報告

山本総領事夫人を名誉委員長に13名でスタート。駐在員の奥様方やお子様にも助けとなる又は喜ばれる催しを企画予定していきたい。

11月17日: 西元洋子先生による講演「アメリカの常識と現地校とのつきあい方」

50名参加 お悩みの親御さんの問題解決の糸口になればと思う。

11月28日: レディースミニゴルフコンペ親睦会 9ホール 24ドル 食事つき

定員24名 コンペに参加したことがない方にもお気軽にご参加いただきたい。

12月5日: 坂本吉弘先生によるブリザード・フラワークリスマスアレンジメント講習会

6. その他

* Japan Festival関連(高杉禎副会長)

2013年第20回Japan Festivalに関するドラフトを運営委員長のKawasaki Gas Turbines松村博夫様からいただき、それに関する報告

開催日:2013年4月13~14日

テーマ:「ありがとう、Houston！」

20回目の節目の年となる。会員企業各位にご寄付の依頼を予定しており、ご検討いただきたい。商工会は現在共催団体ではないが、Japan Festivalは経費がおよそ17万ドルもかかるイベントであり、今後どのように関わっていくのが大きな課題であるため、活発な意見交換がなされた。

・商工会として関わる以上、運営委員会での意思決定のプロセスをクリアにしていけないといけなない。

・それぞれの団体が覚悟を持って取り組む必要がある。

・商工会のボランティアの人数は婦人会含め相当数にのぼり、大きな労力で貢献すると共に、浴衣トライオンや祭り屋台等の上がりは全額Festivalに寄付。一方、Festivalの収支結果に就いては、過去含め不透明。

・会員企業への寄付金依頼のみならず、お金の流れを明確にする必要を感じる。

高杉副会長より、運営委員会にて課題を共有し、12月の理事委員会でご報告いただく予定。

7. 次回理事会

2012年12月19日(水) 午前11時30分～
於 住友商事社 10階 会議室

ゴルフ編集部から お知らせ

ゴルフストリームでは、常時、読者の皆様からのご投稿、取材依頼をお待ちしております。ご意見・ご感想などもお気軽にお寄せ下さい。

また、編集委員も募集しております。皆様と一緒に読んで頂けるゴルフ紙面を一緒に作りませんか？

毎月一回の編集会議にてお会いできるのを、編集部一同お待ちしております。

連絡・問合せ先:
e-mail: gulf.kiji@gmail.com



商工会の会員各社の方々は、ヒューストンに来て以来、地元にしっかりと溶け込み、地域に欠かせない存在になっています。

このコーナーでは、地域の一員として社会に役立つ活動に取り組んでいる各社の姿を御紹介していきます。



第4回

カネカノースアメリカLLC 社

カネカノースアメリカLLCはヒューストンの南東、パサデナを本拠に1984年操業開始以来、化学品の製造・販売を行っております。当社の製品は中間素材が中心であり、皆様にはあまりなじみがないと思いますが、近年では還元型コエンザイムQ10(ユビキノール)など、より皆様に身近な製品をお届けしております。今回は当社の社員有志が参加したBay Area Heart Walkについてご紹介させていただきます。

Bay Area Heart WalkはAmerican Heart Association (AHA) が主催する、心臓疾患に関する啓蒙・募金のためのイベントです。年間300万人あまりが亡くなり、死亡原因の第1位であるなど、心臓疾患はここアメリカで非常に大きな問題となっております。AHAでは全米でさまざまなイベントを通して心臓疾患の啓蒙活動や募金活動を行っており、今回のイベントもそのひとつです。当社は地元企業として、長年にわたりこのイベントをサポートしております。会場はガルベ斯顿湾に面するキーマ・ボードウォーク。湾を一望できる景色の良さを活かし、レストランや遊園地、ウォーキングコースが整備されたエリアです。参加者はおよそ1時間をかけ、その周辺をゆっくりと歩いて回っていきます。AHAによると「歩く」という行為自体が心臓疾患の抑制となり、イベントに参加することで参加者自身の健康の増進につながります。また、コースの随所に心臓疾患の防止、治療などに関する情報が書かれた看板が立てられるなど、歩きなが

ら知識を得ることのできる工夫が凝らされています。海を眺めながらのウォーキングは非常に気持ちがよく、小さな子供からお年寄りまで、皆、笑顔で楽しく歩いていました。イベントが行われた10月27日は、突然の寒波により、時折吹く海風もあいまってヒューストンとは思えない気温でしたが、歩き終わるとほどよく体が温まるとともに、達成感、そして他の参加者との一体感を味わうことができました。多くの人々が参加した今回のBay Area Heart Walk、募金総額は30万ドルを超え、非常に盛況なものとなりました。集まったお金は様々な形で心臓疾患患者の方々のために役立てられるそうです。

当社はテキサスに根を張る企業として、今後も様々な形で地域社会に貢献できる活動を続けてまいりたいと思います。



会社概要

カネカノースアメリカLLC
(Kaneka North America LLC)

- 従業員数: 約330名
- 拠点: Pasadena
- 事業: 化学品(高機能性プラスチック、液状樹脂、超耐熱性フィルムなど)、機能性食品(コエンザイムQ10、ユビキノール)の製造・販売



ピーカンキッズ活動報告

木々の葉が色づき始めた11月10日(土)の「読み聞かせの会」には、たくさんの子供たちが参加してくれました。

3歳以上の部の最初は「おふるだいすき」でした。ある日男の子がお風呂に入ると、かめやペンギン、オットセイ、カバやくじらまで現れます。楽しい空想の世界に子供たちは引き込まれたようです。「ぐりとぐら」では、二匹ののねずみが作ったふかふかのカステラを秋の森で動物たちと一緒に食べます。美味しそうな匂いと幸せな気持ちの子供たちに運んできてくれました。次はどこにでもあるナイフが、ページをめくると「曲がる、溶ける、伸びる、膨らむ」と変化する「ふしぎなナイフ」。お父さん、お母さんも見入りました。最後は動物の鼻をアップの写真で紹介した「はな」。実物大の象の鼻には圧倒されたようでした。

おまけは安田直子さんによる語り、「小さな自動車、中くらいの自動車、大きな自動車」でした。次第に子供たちも声を出して一緒にお話の世界に入り込みました。3歳未満の部では色使いのはっきりした「うさこちゃんとうさぶつえん」。赤ちゃんがすっぽりかぶった衣服から頭や手を順番に出していく「おててがでたよ」。汽車が野山を越えて走っていく様子を擬音だけで表した「ぼぼぼぼ」。そしていろいろな種類のパンが出てくる「ぼんだ



すき」では、美味しそうな匂いが伝わって来て、最後に手を伸ばして絵本のパンを食べました。

もうすぐ新年、2008年から続く「読み聞かせの会」も5年目を迎えます。

立ち上げ当初からアドバイザーとして私たちメンバーを支えて下さった安田直子さんが今月帰国されます。安田さんは日本で10年以上語りや読み聞かせのご経験があり、私達にたくさんアドバイスをしてくださいました。子供たちの心に響く絵本の選び方、そのお話が子供たちにしっかり伝わる読み方、子供たちが見やすい絵本の持ち方や服装等等。でも何より大切なのは“こどもの心になって自分が絵本を楽しむこと”と常々おっしゃっていました。

私たちメンバーはこれからも子供の目線でじっくり絵本と向き合い、絵本読み聞かせの会に参加してくれる子供たちに“楽しい一冊”を届けられるように取り組んでいきます。

いつも来てくれるお友達も、新しいお友達もピーカンルームで待っています。

来年もどうぞよろしくお願ひいたします。

今後の開催予定

<あそぼーかい>

- 1月15日(火) 10時30分から
- 1月19日(土) 9時30分から
- 2月2日(土) 9時30分から
- 2月7日(木) 10時30分から

<絵本読み聞かせの会>

- 1月12日(土)
- 2月9日(土)

- 10時～ 3歳以上、
- 10時30分～ 3歳未満

変更がある場合もございます。三水会センター内ポスターやヒューストンナビでもご確認ください。

スタッフは、随時募集中です。ご興味をお持ちの方やお問い合わせは、次のアドレスまでご連絡下さい。お待ちしております。

あそぼーかい

mama.asobokai@gmail.com

読み聞かせの会

houstonyomikikase@yahoo.co.jp



教育講演会報告

Stand up for yourself! (自分の意見をしっかり主張しなさい)

西元先生のお話は、このようなことわざを紹介しながら、アメリカの常識をわかりやすく説明して下さることから始まりました。11月17日(土)に開催しました商工会婦人部委員会主催、西元洋子先生による教育講演会の様子です。会場の補習校図書室は、集まった50人を超える方々ではほぼ満席。“出る杭は打たれる”“口は災いのもと”とならってきた我々日本人が、いろいろな場面で戸惑うことの多いアメリカでの生活。今回は、教育の現場「現地校での生活」にフォーカスし、18年にわたってその最前線にいらした西元先生が、ご自分の経験を交えながら、アメリカ人の子供に対するしつけ、クラスルームルールおよびそれに反した場合の処罰などについてお話し下さいました。なかでも、“アメリカ人教師に関するうそホント”では、「先生は公務員だからアルバイトをしてはいけない」「先生に何度もカンフェレンスをお願いするのはよくない」「先生がいつもほめてくれるから安心」等、日ごろ私たちが、「本当のところはどうなんだろう?」と思っていた疑問に明快にお答え下さいました。この記事を読んで、答えはどっちと思われた方、是非参加なさった方にお聞きになってください。

後半は質疑応答。子供のスキミングに関して、先生へのあいさつの仕方、小学校低学年の評価は絶対評価なのか相対評価なのか?等々のご質問がでました。公の場で発言することになれていない私たち日本人なのですが、西元先生の“Stand up for yourself!”の言葉に励まされて勇気を出してご質問下さった方々、ありがとうございます。なかでも、「自己主張しようということだが、度が過ぎてしまうようなことはないだろうか?」というご質問に、先生は「日本人が主張しすぎと思っても、アメリカ人の中では足りないくらい。」とキッパリ。「なるほど、そうなのかあ。」と司会をしていた私も認識を新たにいたしました。また、ギフトに関するご質問には、「身に着けるものなどで趣味に合わないものは困ったわねえ。クローゼット



にたくさんまわっているわ。」と正直なご発言に会場の皆様からも笑いがもれていました。余談ですが、その後先生とお話した時、「そういえば具体的な値段をお答えしていなかったわね。個人差があって、\$5~\$20くらいかな。」と、おっしゃっていました。「でも、しなくても全然、大丈夫よ。」とも。クリスマスのギフトをどうしようかとお悩み中の読者の皆様、お役にたてたでしょうか。

講演後、西元先生が以下のようなお話をしてくださいました。「私が一番伝えたかったのは、皆さんは同じような習慣・バックグラウンドをもつ単一民族で構成されている日本から、人種も文化的なバックグラウンドも異なる多民族で構成されているアメリカに来ていることをもっと自覚してほしい、ということ。ここアメリカでは日本の常識は通用しない。お互い違うから、自分の思っていることをはっきり言わなければお互い理解できない、そして誤解を避けるため書面で確認し合う事がとても大切とされている。片言の英語でも大丈夫だから、子供のために学校・先生と意思疎通をする努力をしてほしい、ということ。」

お子様たちは、現地校で様々な困難に立ち向かいながらも頑張っています。私たち親は、その頑張りをしっかり支えていかなければなりません。商工会婦人部ではそんな皆様をサポートする企画をこれからも実現していきたいと思っています。

最後になりましたが、ご多忙にもかかわらず、私たちの申し出に快く応じて下さった西元先生、会場にお越しいただきアンケートにご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

日米協会Gala Party 盛大に終わる

去る11月10日日米協会(JASH)のGala Partyがヒューストンのオムニホテルで開催されました。“友達”と称したテーマで、日米両国の絆が一番必要な時代に相応しい草の根交流が行われました。

元チャンネル13のニュースキャスターで、現在はラジオで活躍されているShara Flyer女史の司会で始まり、木下美穂子ソプラノ・オペラ歌手による両国歌の独唱の後、山本条太総領事からご挨拶を頂きました。続いて海外出張中のヒューストン市長の代理人Mr. Gonzalezがご挨拶され、Parker市長が2012年11月10日をJapan-America Society of Houston, Inc. Dayとする旨を宣言、その宣言書を日米協会代表として会長の私が受け取りました。

その後夕食へと移りましたが、会場の外ではサイレント・オークションが行われ、皆様から寄付して頂きました数々の商品が収益の増加を齎せました。余興としては、お宮参り、七五三、成人式、結婚式と日本のしきたりによる和服ファッションショーが行われ、最後にはアジア各国の民族結婚衣装が披露され、盛大な拍手を受けながらの閉幕となりました。参加人数は約300名で、古き良き時代からのTexanも多く参加され花を添えてくださいました。

日本商工会の会員の方からも多くのご寄付を頂いたほか、Showing Japanを始めとする多数のボランティアの方々に積極的に協力して頂きました結果、所期の目的を完全に達成することができましたこと、ここに報告申し上げます、厚く御礼申し上げます。

日米協会会長 直木 純二郎 (Satake USA, Inc.)



ご挨拶される山本総領事



素人ボランティアによるファッションショー

グレーターヒューストン日本人会・グレーターヒューストン日本医学会

第9回 乾杯の集い

毎年恒例の秋の行事、グレーターヒューストン日本医学会および日本人会共催の「乾杯の集い」も今回で第9回となりました。今年は、10月27日土曜日にテキサス大学のリクレーションセンターで開催され、総参加者数は57人、うち子供6人で、下戸も上戸も子供も大人も、みな大いに秋のひと時を楽しみました。

今回は「世界のワインを楽しもう！」というテーマのもと、世界各国の様々なブドウ品種のワインをそろえ、もちろんテキサスワインも楽しみました。毎年この「乾杯の集い」の準備としてワイナリーツアーを催すのですが、今年は古き好き町並みの残るブライアンでのワインフェスティバルに参加し、「乾杯の集い」で飲むワインもたっぷり仕入れてきました。

「乾杯の集い」の当日は、料理はワインに合うチーズ・クラッカーの他にお寿司も用意し、いろいろな組み合わせを楽しみました。また、恒例のワインクイズ、勝ち抜けジャンケン大会も参加者全員が歓喜の声を上げ、例年通りとても盛り上がりました。ワインクイズは三谷佳嗣先生が優勝(昨年のジャンケン大会優勝に引き続き快挙です!)、ジャンケン大



会は清水直樹先生と古川彩香さんがそれぞれ日本人会会長賞と医師会会長賞を勝ち取り、戦利品としてナパバレーのスペシャルワインが贈呈されました。

「乾杯の集い」というと、いかにもアルコールを飲むことがメインのような響きがあるかもしれませんが、「老若男女家族友達、みんな誰もが楽しく集う」というのが趣旨です。今回の集いでも、その趣旨に沿って、みんな楽しいひと時を過ごせたのではないかと思います。

今年参加できなかった方も来年はどうぞお越し頂き、普段出会わない方々とも親睦を深めてみてください。

(小川好子)



ヒューストン
日本語補習校

社会科見学

- Toshiba International Corporation -



11月3日(土)、清々しい秋晴れの中、日本語補習校の小学3年生39名と先生方3名、総勢42名が、黄色いスクールバスに乗って、当社の工場見学に来てくれました。私も道案内方々、学校から工場まで、映画でしか見たことのないスクールバスに初めて乗ることができ、少し嬉しい気分でした。バスの中で、最初に「おはようございます」と挨拶をしたところ、とても元気な声で「おはようございます」と返事が返ってきて、みんなが楽しみにしていることがとても伝わってきました。

当工場では主にモータとそれを動かすドライブ、データセンターなどで利用されるUPS(無停電電源装置)を製造しています。モータと言ってもみなさんの身近にある掃除機等の機械に入っている小さな家庭用モータではなく、産業用モータやハイブリッドカー用のモータという、みなさんの目にはつきにくい製品を製造しています。しかし、産業用モータとは、実は私たちの生活の中で欠かせない存在なのです。例えば、毎日使う電気を供給する発電所で、家庭に水を送るためのポンプ場で、電車や機関車で、テキサスの主要産業である石油の採掘場で、産業用モータは活躍しています。華やかさはないのですが、みなさんの生活を陰で支える重要な役割を果た

している製品なのです。また、ハイブリッドカー用のモータはガソリンの消費を少なくするために、エンジンと共に駆動装置の一部として、また発電装置として車に組み込まれています。

今回の工場見学に当たっては、3年前にも見学していただいた産業用のモータ製造ラインはもちろんですが、さらに2011年から稼働した新しいハイブリッドカー用のモータ製造ラインも是非見てもらいたいと考えました。この新しい製造ラインにはロボットがたくさん使われているので、ロボットの動きを見るだけでも、とても楽しいものです。しかし、当初は工場見学の予定されている土曜日が休日のため、どうやって製造ラインを動かそうかと社内で相談していました。ところが、お客様よりたくさんの注文があり、ちょうどモータを大量に作るようになったため、工場見学の日も製造ラインが稼働することになって、みなさんにロボットが動いているところを見てもらうような見学ルートを準備することができました。

数日前には現地スタッフから、「ショールームがいつもにまして綺麗だね。こういう時はとても偉い人が来ることがよくあるけど、誰が来るの?」と質問を受け、よく気がつくなと思

いつ、「今週末に日本語補習校の小学生が工場見学に来るんだ」と伝えたところ、「なるほど、それは一番大切なお客様だ。しっかり頑張れよ」と励まされました。

さて、当日は20分弱のバスでの移動でしたが、気分が悪くなる子も無く、みんな元気にバスを降り、きちんと整列して講堂まで行きました。まずはグローバルに活動している東芝全体の概要説明や、当社で製造、販売している数々の商品の紹介、それから地球の環境を守るための活動や、学生の発明コンテストの開催等、社会に対する貢献活動について紹介しました。続いて本日の工場見学で見ることになるモータの構成や作り方、ハイブリッドカーとそれに搭載されるモータと発電機の説明を行い、いざ工場見学に出発です。

見学は4班に分かれて、それぞれの班に説明員が付き、工場を巡回しました。子供たちは安全メガネを装着し、工場見学時の注意事項に真剣に耳を傾けて、まずはショールームの見学。説明員の話の聞きながら、展示してある製品の数々をじっくり観察し、「この穴はなぜ空いているの?」「色はどうやって決めるの?」など、気になった点を次々に質問し、一生懸命メモを取っていました。続いて、実際の物を作っている工場に入ると、産業用のモータ製造ラインではプレスマシンや穴あけ加工

機、旋盤加工機など、普段は見られない大型機械に興味津々の様子でした。隣り合った2台の大きなモータについて、シャフトの微妙な太さの違いに気づいたり、打ち抜いた鉄心のスロット形状の特徴を指摘するなど、大人でも目につきづらい点に関心を寄せ、説明員の話に熱心に耳を傾けていました。ハイブリッドカー用のモータ製造ラインでは、自動化されたラインとその中で動くロボットの素早い動きに、感嘆の様子で見入っていました。車に搭載されるモータと発電機の違い、自動化された設備の動作の仕組み、作業者の作業内容など、積極的に質問メモを取っていました。

工場見学が終わり、講堂に戻って最後の質問タイムです。「大きいモータは一人で作るの?」「大きいモータと小さいモータを作る時間は?」「1つのモータを作るのにいくらかかるの?」など、比較的回答しやすいものから、「ハイブリッドカーはどうしてガソリンをあまり使わないの?」「ハイブリッドカーでモータからエンジンに切り替わるタイミングはどうやって

決めるの?」など、ちょっと高度なものまでたくさん質問が飛び交いました。中でも「ロボットにできて人間にできないことは?」という質問には、説明員が胸を張って「ロボットにできて人間にできないことは何もありません!」と答えたのですが、みんなから「えー、人間は空を飛ばないよ」と子供らしい視点でやり込められていました。

質問タイムの後には、子供達の代表者2名から工場見学に対する丁寧な御礼の言葉をいただきました。その後、外に出て晴天のもと、みんなで記念写真の撮影を行い、スクールバスに乗って、無事に学校に戻りました。

最後の挨拶では、「楽しかったですか?」の問いかけに、「はい!」という元気のよい返事が返ってきて、みんなが工場見学を楽しく体験してくれたのだと、たいへん嬉しく思いました。

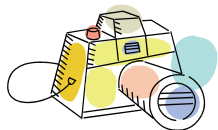
子供たちにとっては、この工場見学を通し

て、私たちの製品や役割について学習したこと、普段目にする事の無い大人の仕事の世界を垣間見たこと、どちらも貴重な経験になったことと思います。学校だけの勉強では感じられない、実際の物を見て、音を聞いて、臭いを嗅いで、肌で感じることによって、子供たちの脳裏に今回の経験が深く焼き付いてくれたのではと思います。そこから、社会や理科の分野に興味を深め、勉強することの楽しさを感じてもらえれば、私たちにとってはこの上ない幸せです。日本は資源の少ない国ですが、みんなが一生涯懸命勉強し、地道な努力を積み重ねることによって経済大国となり、世界各地で活躍するようになりました。みなさんにも、勉強することの楽しさ、大切さを知ってもらい、将来の世界を支える立派な大人になって欲しいと思います。

(岡田 吉弘)

Showing Japan

七五三写真撮影会 報告



今年で4回目となる七五三写真撮影会が11月3日(土)と17日(土)の2日にわたり開催され、合わせて56家族の皆さまにご参加いただきました。

小さなお子さまの中には着付けが苦手な涙が出てしまうお子さまもいらっしゃいましたが、スタッフも心得ており、時間をかけて晴れ着姿に。元気な男の子は着付けルームで逃げまわっていましたが、気がつく和别人のようにりりしいはかま姿に変身しています。短時間で髪を結い上げるプロの技であつという間にいつもと違う自分になり、なんとなく恥ずかしい気分の女の子。そんなお嬢さまの華やかな振袖姿に目を細くされるご両親。

どのお子さまもとても可愛らしく、特に兄弟姉妹の微笑ましい姿が印象に残りました。ご両親も揃って和服を着て撮影された家族写真は、きっと素敵な記念の一枚になったことでしょう。以前の撮影会にご参加いただいた”リピーター”からのお申し込みもいただきましたが、スタッフにとり、こんなに嬉しいことはありません。ここヒューストンでも七五三の写真撮影が出来ると喜んでいただけること、そして、こうした機会を通じて日本に親しみを感じていただければ幸いです。

ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。スタッフ一同、少しずつ経験を積み、幾分手馴れて作業を進められるようになって参りました。可愛い晴れ着姿のお子さまに接し、今年も盛況で撮影会を終えることが出来たことで心地よい達成感を味わっております。参加費として1600ドルを集めることができました。今後の活動費として大切に使用させていただきます。



晴れ着撮影会のお知らせ

たくさんのお子さまにご参加いただいた七五三に引き続き、新年晴れ着撮影会を開催します。色とりどりの振袖、落ち着いた訪問着のほか、男性用の着物も増え、さらに多くの皆さまに楽しんでいただけます。花嫁の打ち掛けもあります。ご家族でまたお友達と、もちろんお一人でも、日本のお正月を思い起こし、素敵な晴れ着を着てみませんか。皆さまのご参加をお待ちしています。

日時 : 2013年 1月5日(土) 9時~5時(予約制)

場所 : 三水会センター

参加費: 着付けのみ 10ドル 髪セットと着付け 20ドル

ご予約方法: ホームページをご覧ください。

<http://showingjapan.wordpress.com/>

お申し込み及びお問い合わせ: showingjapan@live.jp



第544回 テキサス会

～ 商工会会長杯 ～

去る11月11日(日)、第544回テキサス会「商工会会長杯」がKaty市のGolf Club at Cinco Ranchで開催されました。当日は雷雨が予想されていたのですが、幸いにもプレー中は雨に降られることもなく、総勢53名の方にプレーを楽しんでいただきました。

当ゴルフコースは当地日本人の間ではとても人気のあるコースですが、今までショットガンスタートを取扱ってくれずテキサス会会場に採用出来なかったのですが、尋ねてみるものですね。今後は取扱って頂けるそうです。

さて、本会ではYamato Transport USAの牧山さんがベストグロス賞他、ダントツでの優勝でした。テキサス会常連プレーヤーで相当の腕前の方ですので、勝って当たり前と中には思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、そこはダブルペリエ方式で行われるテキサス会。腕だけでなく運もとても重要です。優勝スピーチで「やっつと優勝できました」と感極まった一言がとても印象的でした。また女性の部優勝者はToshiba International Corp.の岡田さん。今回唯一の女性参加者でしたので、ひたすら「申し訳ない」と、記念写真を撮り損ねてしまうほど



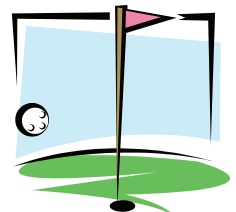
Yamato Transport USA
牧山さん



Toshiba International Corp.
岡田さん

恐縮されておりましたが、これも運です。次回テキサス会ではより多くの方々にご参加頂き、プレーを楽しむだけでなく、運も是非お試しい頂きたいと思ひます。

尚、大会運営や賞品準備に就きましては、商工会各社やご有志の方から沢山のご支援・ご協力を頂きました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。
CEC-USA 幹事一同



あるある アメリカの現地校体験談

～ その4 ～

お待たせいたしました。現地校体験談の第4弾です。お子さんが現地校に通われている皆さんからの「生の声」をレポートしました。日本の常識を覆すアメリカの学校での体験の数々。今回はファンドレイジングに関する体験を中心にレポートしました。未経験の方は心の準備のために、すでに経験済みの方は、うんうん、とうなずきながら、お楽しみください。

<ファンドレイジング>

こちらにきて初めてファンドレイジングという言葉と出会い、関心が高まりました。街頭募金は日本の学校でもたまにあります。バンドの遠征費用調達のためにフリーマーケットを開催したり、グロサリーストアや他のショップのお買い物金額に応じて自動的に学校に寄付されるシステムなど、様々な方法があることに驚くとともに、ドネーションやボランティアの精神がアメリカ社会には根付いているのだと感心することが多いです。週に1度は何かしらのドネーションやボランティア募集のメールが発信され、さらには先生方の車を洗車するボランティア募集まで。驚いてしまいました。道端やショップの片隅にも、衣類のリサイクルBoxや本のリサイクルBoxが。日本人も見習いたいものです。(Mさん)

<ファンドレイジングイベント その1 - クリスマスギフトの販売など >

息子が、「これをたくさん売ると、おもちゃがもらえるんだよ！」と弾んだ声で差し出したものは、PTAから配られたファンドレイジングのためのクリスマスギフトのカタログでした。売り上げによって、生徒は様々なおもちゃがもらえる、というしくみです。子供たちは、このおもちゃがほしいばかりに親にカタログの中から何かを買ってもらおうと必死になります。また、これを親戚・友人・会社の同僚にも売ってほしいというらしい。カタログには、いかにもアメリカらしい楽しそうなものが並んでいますが、よっぽど経済的に余裕のある人にならともかく、友人や同僚に何かを買ってほしいと頼むのは少々気が引けるような値段。しかも、『危険なことがあるかもしれないので、

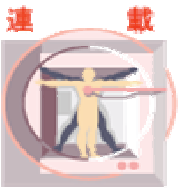
子供たちだけで知らない家に売りに行かせてはいけない』という注意書きまでついています。ということは、学校のファンドレイジングは、親が知り合いに物を売らなければならないということです。知っている人や親戚が近くにいない人は、自分がその中から何か買わなくてはなりません。特にほしいものもないなあ...と思ひながら、無視しようと思ひかけたとき、もうひとつの注意書きが。「何も購入したくない人は、添付の封筒に25ドル入れて生徒に持たせてくれれば、ファンドレイザーに協力したことにします」。この強引さ！一瞬アメフトのディフェンスに押しつぶされかけている自分のイメージが浮かびました。(Kさん)

<ファンドレイジングイベント その2 - ウォーカソン >

マラソンというと、日本人がついに熱くなってしまう競技ですが、ウォーカソン(Walk-a-thon)というのはこちらに来て初めて聞きました。息子の話によると、子供たちが校庭を何周も歩くのだそうです。それで...?親や親戚、知り合いに1周につきいくらでお金をもらい、自分もらったお金の分だけ歩くというゲーム(?)です。結果集まった金額は○○の行事の資金に充てるという方式。先生が、掛け金と周るべき数をリストにして、子供たちが1周終わるごとにチェックして、目標を達成したかどうか最後に証明書を書くのでズルはできないよ、とは息子の説明。お金は、1周につき25セントや1ドル

などのレートで払ってもよし、3ドルで出来るかぎり周ることにしてもよし、先払いでも出来高制でもよい、と、かなりフレキシブル。キンダーの子供たちから5年生までが参加できるようにとの配慮らしいですが、それにしても、校庭を歩くだけで簡単すぎませんか?結局息子は、時間が終わるまで20周も走ったと、ニコニコしながら帰ってきて報告してくれました。まさに私の予想通り、低いレートにしておいてよかった...と密かに胸をなでおろしたのでした。でも、学校でこんな賭けをするのってありでしょうか?(Aさん)





編集委員会では医療の最前線でご活躍されているメディカルセンターのドクターにリレー方式でご登場頂き、健康に関する話、メディカルセンターの様子などを連載記事としてご紹介しています。前回の喜多芳昭先生から放射線治療がご専門の古谷俊介先生にバトンが移りました。

第99回

切らずに治す放射線治療

医師

(現MD Anderson Cancer Center研究員)
古谷 俊介



皆様、こんにちは。今年7月に徳島県から家族4人でヒューストンにやって来ました。現在MD Anderson Cancer Centerの放射線腫瘍部門で肺がんの研究を行っております。日本では放射線科医として各種がんに対する放射線治療に従事しておりました。一般の方にはあまり馴染みのない治療法かもしれませんが、上手に治療すれば傷跡もなく、楽にきれいに治すこともできる治療法です。今回はがんに対する放射線治療の具体的な内容や最近の話題についてお話をしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

がん治療の三本柱

厚生労働省の調査でも示されるように、いまや日本人の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんによって亡くなる時代といわれます。まさに日本の国民病と言っても過言ではありません。がん治療の三本柱は手術、放射線治療、抗がん剤治療です。

放射線治療といってもピンとこない方もいらっしゃると思います。日本では現在がん患者の3割程度に放射線治療が行われていますが、アメリカでは6割を超えるがん患者が放射線治療を受けており、がん治療の主力となっています。日本でも年々放射線治療を受ける患者数は増え続けており、やがて欧米並みになると予測されています。

放射線治療とはどのようなものか

放射線治療は手術と同様に局所療法の一つであり、がんを完全に治すための治療法です。主にX(エックス)線やγ(ガンマ)線といった放射線をがん細胞に照射して細胞のDNAに傷をつけることにより細胞死を引き起こしてが

んを治療します。

放射線治療の長所としては、①治療に伴う体の負担が少ない、②臓器を温存し機能を残すことができる、の2点が代表的です。放射線治療は照射による痛みがなく、通院治療も可能で、高齢や併存疾患などの理由で手術が難しい人でも治療を受けることができます。また臓器を温存したままがんを治療しますので、体の形や機能を残すことができ、治療後も高い生活レベルを維持することができます。

どの様ながんに対し放射線治療が行われるか

かつて、放射線治療は手術ができない非常に進行した患者にばかり治療が行われ、放射線治療をするということはすなわちもう治らないといったイメージを持たれることもありました。最近ではエビデンス(根拠)に基づいた医療が行われるようになり、放射線治療が正しく用いられるようになってきました。

現在、放射線治療は全身の様々ながんに対し行われていますが、その適応はがんの種類や進行度によって変わってきます。例えば前立腺がんや子宮頸がんなどは早期から進行期まで放射線治療が行われていますが、肺がんなどは早期であれば手術中心、進行期になると放射線治療+抗がん剤、一方頭頸部がんでは早期であれば積極的に放射線治療、手術は進行期に行われるようなケースもあります。あるいは乳がんのように手術と放射線治療を組み合わせたり、一部の脳腫瘍や上咽頭がんなどでは手術は行われず、放射線治療で治すがんもあります。また、がんが根治できないような場合でもがんに伴う様々な症状を和らげる目的で放射線治療が行われています。もちろんどの治療方法が最も適切であるかは、治療効果だけでなく、年齢や併存疾患、治療によって起こりうる副作用なども考慮した上で決める必要があります。

放射線治療の具体的な内容は

体の外から放射線を照射する外部照射に関しては、通常照射している時間は1~2分程度です(その前後の時間も合わせると1回の治療は10~20分程度)。これを土日、祝日を除き毎日繰り返して4~7週間程度行います。照射時間や照射回数は目的とするがんの種類や治療目的によって異なります。ここで大切なことは、一度治療を開始したらできるだけ休まずに治療を続けることです。あまり休んでしまうと、治療効果が低下してしまうことが知られています。また効果に関しては治療期間中に現れることもありますが、治療が全て終了した後徐々に現れてきます。

放射線治療の副作用について

がん細胞と同様に正常の細胞も放射線治療によりダメージを受けます。ですから我々放射

線科医は放射線をできるだけ正常細胞にあたらないように計画を立てます。放射線治療の副作用は治療された部位によって変わってきますので一概には言えませんが、治療開始後早期に起こってくるものは一過性であることが多く、一方、治療後数カ月・数年後と時間が経ってから起こるものは治りにくい傾向があります。放射線によりがんが誘発される頻度は低く、放射線治療によって得られるメリットと発がんというデメリットを比べると通常メリットが上回るため、放射線治療が行われますが、特に年齢が若い場合には将来の発がんの危険性をよく考慮した上で、治療方針を決める必要があります。

最新の放射線治療

近年放射線治療機器の技術革新、性能向上がめざましく、腫瘍にのみピンポイントで照射して、周囲の臓器へのダメージを最小限にすることで、これまでは難しかった治療効果の向上と副作用の低減を両立させる治療が可能になってきました。いくつか例を挙げますと、肺の小さながんに対する定位放射線治療(ピンポイント照射)は早期肺がんに対する新たな治療の選択肢となってきましたし、強度変調放射線治療(正常臓器を避けるように照射する方法)は日本では前立腺がんや頭頸部がんを中心に行われていますが、アメリカでは全身の様々ながんに対して用いられています。粒子線治療(陽子線・炭素線)は従来のX線治療よりもさらに正常臓器への線量を減らすことが可能であり、またX線が効きにくいタイプのがんにも高い効果が得られています。

以上簡単ですが、放射線治療の現状について紹介しました。あまり馴染みのない放射線治療が少しでも身近に感じて頂けるようになれば幸いです。放射線治療は治療機器のハイテク化に伴い着実に進歩しています。また、新しい抗がん剤や低侵襲手術などを組み合わせることにより、今後より良く治り、かつ負担の少ない治療が可能になっていくものと思われます。



今回は、記念すべき第100回となります。がんに対する抗がん剤治療がご専門の竹内啓先生です。MD Andersonの英語クラスで声をかけて頂きましてお知り合いになりましたが、実は奥様同士で先に知り合っていたようです。今回のバトンタッチの依頼も快く引き受けてくださいました。

ヒューストンでの生活も早2年が経ち、色々なことを体験してきた。家族旅行は然り、アンティークショップめぐりに友人達とのクロスステッチタイム、でも今1番の私の楽しみはピクラムヨガである。

日本にいた頃、育児の合間を見つけては週2回ヨガサークルへ参加していた。ここでの生活も慣れてきた頃、ヨガに通いたくてジムに入会した。もちろんヨガのポーズは一緒なので、問題なくレッスンを受けることができた。だが日本でのヨガは涼しめの部屋で自分の体温を自分の力で徐々に上げていく感じであったのに対して、ここでのヨガはクーラーのよく効いたスタジオ内での50分のレッスン。途中までは体が温まっていくものの、最後にはいつも手足が冷たくなっていた。“冷え性の私にはちょっと・・・”そんな話を友人にしたところ、“ピクラムヨガはどう？”と勧められた。気になり始めた頃にちょうどクーポンを手に入れたので、早速トライしてみるとこれが大当たり！

ピクラムヨガとは室温40℃、湿度55%のインドと同じ暑い環境の中で90分間、何千もあるハタヨガのポーズから、ピクラム先生がピックアップし一番効果が得られるように作られた世界共通のレッスンのこと。

最初にスタジオに入った時、「息苦しいな～この状態の中で最後までいられるかな？」と思った。が、90分はあっという間に

駐妻のヒューストン日記

第99回 横地 恵実 さん



カンクンチチェンイツァ遺跡にて

過ぎた。きっと自分自身が深く集中できたからだと思う。インストラクターは前にいるのだが、基本的にポーズはとらず、すべて言葉で伝えてくれる。鏡の前で自分の姿をよく見ることからスタートするためのようである。語りかける言葉も呪文のようで心地がいい。呼吸を大切にしながら丁寧にポーズをとることを心がけた。理解できないポーズは周りの人を見ながらもなんとかこなしていく。間違っている場合は、インストラクターがそばにきて丁寧に細かく修正してくれる。暑いスタジオの中で、正しい呼

吸を行い、自分自身でしっかりと内側から温めることで、大量に汗が流れた。日ごろ汗をかくことを忘れてしまった腕やすねなどからも、汗がおもしろいくらい湧いて出る。インストラクターの指示で水分をとるタイミングも決められており、しっかりと水分を補給しながら汗をかくことで身体のデトックスが行われていく。回数を追うごとに、徐々に身体が覚えていき、クーポンの切れる25回目を越えた頃には、素直に身体が動いていた。これには自分でも驚いた。毎回、同じプログラムだからこそ、自分自身の少しの変化に気づくことができるし、続けていくことで自分に自信を持つこともできた。確実にタフになったと思う。それになんといつてもレッスンを終えたあとの、爽快感、達成感、充実感は言葉ではいい表すことができないくらい。ピクラムヨガは身体の外側だけを使うのではなく、ポーズと呼吸で内臓のマッサージも行われている、とのこと。内側からメンテナンスされることで、それぞれの内臓が元気に、強くなるそうだ。

私は心と身体は繋がっていると考えるので、健康な身体には穏やかで柔軟な心が宿ると思っている。毎日、家族の為にも笑顔でいられたらと願う。これからも私自身の為そして家族の為に、ピクラムヨガを続けていきたい。

No.57

ヒューストン知っとん物語





Bullock Texas State History Museum



Stevie Ray Vaughan



Austin Skyline

Weirdな町、オースティン

Austin, Texas

石井 光 (JTB USA,INC.ヒューストン支店)

テキサスの州都オースティンは、テキサス大学の本校がある学究都市であり、サンアントニオと並ぶテキサス州屈指の観光都市でもある。コンピューターのDellの本社や数多くのIT企業の支社を擁するシリコンヒルズという地域は、IT産業の新しいメッカという顔も持つ。美しい景観に住みやすい環境も相まって、全米でも急激に人口が増加している都市だ。とても真っ当な都市に見えるオースティンのスローガンのひとつが、“Keep Austin Weird”。この都市が、とてもほめ言葉とは思えないWeird(風変わりな、奇妙な、おかしい)という言葉で語られるのは、何故なのだろうか？

オースティンは車で観光できるし、ユニークなツアーに参加するのも楽しい。まずはSegwayツアー。Segwayとはショッピングモールの警備の人がよく使う立乗りスクーターのこと。これに乗ると、いつもとは違う目線でダウンタウンの歴史地区を観察できる。Duck Tourも面白い。アヒルさながらに水上も陸地も移動できる水陸両用車(船)に乗って、約75分間市内を探検するツアーである。そして、他に類を見ないオースティンの名物といえば、コウモリ。ダウンタウン南のLady Bird Lakeにかかる kongress アベニュー・ブリッジの下には、何万匹ものコウモリが生息している。昼間はそこにかたまるとまっているだけだが、夕暮れどきにそのコウモリたちが一斉に飛び立つ姿は、まさに圧巻だ。



Duck Tour

The Capital City of Live Musicの名の通り、ライブハウスを中心としたナイトライフも、オースティン観光の大きな楽しみだ。ダウンタウン随一の歓楽街6th Streetでは、Austinites(オースティンの住人)お気に入りのブルースを中心に夕方から大音量で音楽が流れ、夜中までにぎやかだ。こじんまりとしたWest 4th Street、湖に近くお洒落で高級なWest 2nd Street、隠れ家的なRainey Streetなど、予算や好みに合わせてエリアを選ぶとよいだろう。

Lady Bird Lakeの南側には、市民の憩いの場、ゼルカー・パークがある。ここでは遊歩道からオースティンのダウンタウンの美しいスカイラインが見晴らせる。この公園には、オースティンが誇るブルース・ギターの名手、故スティービー・レイ・ボーン銅像もあるので、音楽好きにとってははずせないスポットだ。オースティンにはこのLady Bird Lakeのように、地図



Lady Bird Lake

でみるとどう見ても川なのだが湖と名がついている場所が多い。聞くところによると、ほとんどが人工湖と言う。確かに、州議事堂を中心とした町のつくりは、自然を生かしながらも整然として、人工都市ワシントンDCに似ているように思う。ワシントンと違って無料ではないが、各種博物館もオースティンの見所だ。Bullock Texas State History Museumでは、テキサスの歴史が詳しく展示され、IMAXシアターの多彩なプログラムも必見である。テキサス大学内に

はジョンソン大統領の執務室を再現したLyndon Johnson Library and Museumがあり、少し郊外に行くと、花を愛したジョンソン大統領夫人のWildflower Centerもある。州議事堂は、議会のない土日もオープンしているので、観光客にはありがたい。



Lyndon Johnson Library and Museum

先述のDuck Tourでは、オースティンのユニークな住宅街や別荘の数々を眺めることもできる。ダウンタウン近くの住宅街には、Moonlight Towerと呼ばれる古めかしい鉄塔がある。1880年代、オースティンで前代未聞の連続殺人事件が起こった。市民を震撼させたこの事件のあと、市はこれ以上被害者を出せないと対策に乗り出し、夜間も明るく月のように街を照らし出すこの塔を、市のあちこちに据え付けたのだ。デトロイトから取り寄せた31機の塔のうち14機は、驚くことに100年以上経った今も現役とのことだ。そして、Parksville地区は歴史ある住宅街。南北戦争以前には、北側に地主、南側には奴隷が住んでいたという場所で、今では有名人や実業家などが多く住む。さらにLake Austinに行くと、美しい湖畔の高台に高級住宅街がある。テキサス出身の映画俳優マシュー・マコノヘーやデニス・クエイド、テニスのアンディ・ロディック、ツール・ド・フランスのチャンピオン(後に剥奪)ランス・アームストロングなど、世界的に有名な人々の豪邸・別荘が随所にあり、その大きさや景観にため息がでてしまうほどだ。

オースティンに映画俳優が多く集まるのは、ほかの理由もある。数々の新しいものを取り入れ発展し続けるオースティンは今、映画産業にも力を入れているのだ。サンドラ・ブロック主演の「デンジャラス・ビューティー(Ms. Congeniality)」、ジョッシュ・ブローリンの西部劇「トゥルー・グリット(True Grit)」、デニス・クエイドの「オールド・ルーキー(The Rookie)」など、オースティンではハリウッドさながらの人気作品が製作されている。

各種のお店が充実しているのも、この町の活気や住み易さを実感できるところだ。ダウンタウンのLamar Streetには、ホールフーズ・マーケットの巨大な旗艦店や、学生街らしく地元の大型書店など、楽しいお店が集まっている。そして郊外には新興の高級ショッピングモールThe Domainを擁し、北のラウンドロック市や南のサンマルコス市には大型アウトレットもある。オースティン近郊は、便利かつ優雅にショッピングを楽しめる場所なのだ。

オースティンといえば、ゴルフも忘れてはならない。アメリカで人気のゴルファー、トム・カイトやベン・クレンショーが子どもの頃に通ったミュニシパルコースがあり、そこでは今も地元のゴルファーが腕を競っている。市内の北西にはバートン・クリーク。テキサス随一とも言われる高級ゴルフリゾートだ。アップダウンの激しいオースティンのように、山あり谷ありの難コースでオースティン内外のゴルファーが腕試しにやってくる。

このようにユニークで豊かな個性を持つオースティンは、住民が誇りを持ち、そして全米からの人々を惹きつける場所なのだ。それにしても、この町はCoolであってもWeirdではない、どうも腑に落ちないと思い、改めてWeirdの意味を辞書で調べてみた。あった、あった。俗語では、「みごとに、素晴らしい、かっこいい(Cool)」などの意味もあったのだ。そう、“Keep Austin Weird”というスローガンはどこかWeirdだけれど、何とも個性的なこの町にぴったりの言葉だったのだ。

TriにTryっ!

トライアスロン同好会への誘い

わたしがトライアスロンをやるようになったきっかけは人生2度目のフルマラソンを走った後のことでした。ランナー友達と「フルを走れることは分かったので、それよりchallengingなことをやろう」という話になり、トライに挑戦することになりました。トレーニングの頻度は人それぞれですが、わたしの場合シーズン中は週6日、週末は朝夕2度することもあります。仕事をしながらで楽ではありませんが、レースに出て完走した時の達成感や言葉に尽くし難いものがあります。日本人コミュニティーのトライ人口は他のスポーツに比べるととても少ないですが、それでもバイク(自転車)に乗る人、わたしのようにランナー出身の人、以前トライに出た事があってまた出てみたい人達が集まり『ヒューストン日本人トライアスロン同好会』を結成しました。トライの他、デュアスロン(スイ



ム無しなので参加しやすいかも)、ハーフ/フルマラソンにも出場しています。バイクはかなりの凄腕が揃っており、バイク整備をしてくれたり、ロード/マウンテンバイクを楽しむと言った活動もしています。また、メンバーには“Ironman”完走者のコーチがおり、トレーニングの相談にのってくれます。運動不足を解消したい! アメリカで良い思い出が作りたい! 何かにチャレンジしてみたい! という方は是非お気軽にご連絡下さい。

(eri.swager@gmail.com or 646-275-2322)

スワガーエリ



Houston Walker

ライブ音楽

(Metal, Rock & Pop)

House of Blues Houston 888-402-5837

Dec.15, 8pm: The Molly Ringwalds

Dec.20, 8pm: Better than Ezra

Dec.21, 8:30pm: HARD Presents Boys Noize Live “Out of the Black Tour”

Dec.22, 7pm: Los Lonely Boys

Dec.26, 9pm: The Ruby Revue Burlesque Show

Dec.27, 7pm: Robert Earl Keen

Dec.28, 8pm: Hayes Carll’s Burlesque Circus and Sideshow Freakout

Dec.31, 9pm: Reckless Kelly

Jan. 12, 8pm: Tyler Hilton, Teddy Geiger & Ryan Cabrera

Jan. 12, 8pm: Black Veil Brides Church of the Wild Ones Tour

Jan. 16, 8pm: Keane

Jan. 17, 8pm: An Evening with Led Zeppelin 2

Jan. 23, 7pm: Underoath

Jan. 24, 8pm: An Evening With Zappa Plays Zappa

Jan. 25, 8pm: Badfish

Bayou Music Center 713-230-1666

Jan. 17, 7:30pm: Ed Sheeran

Toyota Center 713-758-7200

Jan.31, 7:30pm: Lady Gaga

(Classic)

Jones Hall 713-224-7575

Dec.16, 7:30pm: Very Merry Pops

Dec.20~22, 8pm: Handel’s Messiah

Dec.23, 2:30pm: Handel’s Messiah

Jan. 11, 7:30pm: Dvorak’s New World Symphony

Jan. 12, 8pm: Dvorak’s New World Symphony

Jan. 13, 2:30pm: Dvorak’s New World Symphony

Jan. 18&19, 8pm: What a Wonderful World

Jan. 19, 10am & 11:30am: Aladdin & The Arabian Nights

Jan. 20, 7:30pm: What a Wonderful World

Jan. 22, 7:30pm: UST Benefit Concert

Jan. 31, 8pm: Mahler & Mendelssohn

Toyota Center 713-758-7200

Dec.21, 4pm&8pm: Trans-Siberian Orchestra

(Rap/Hiphop)

Reliant Park 800-745-3000

Dec.31, 9pm: Trey Songz

劇・エンターテインメント

Playhouse 1960 (6814 Gant Road) 281-587-8243

www.ph1960.com

Annie (~Dec. 22)

Main Street Theater – Chelsea Market (4617

Montrose) 713-524-6706 www.mainstreettheater.com

A Little House Christmas (~Dec. 22)

The Ensemble Theatre (3535 Main Street) 713-520-

0055 www.ensemblehouston.com

Cinderella (~Dec. 23)

Hobby Center (800 Bagby) 800-952-6560

www.thehobbycenter.org

Peter Pan (~Dec. 23)

Express Children’s Theatre (446 Northwest Mall)

713-682-5044 www.expresstheatre.com

The Gingerbread Man (~Dec. 22)

Alley Theatre (615 Texas) 713-220-5700

www.alleytheatre.org

A Christmas Carol – A Ghost Story of Christmas (~Dec. 24)

The Santaland Diaries (~Dec. 30)

スポーツ

NBA/Houston Rockets (<http://www.nba.com/rockets/>)

NFL/Houston Texans (<http://www.houstontexans.com/>)

AHL/Houston Aeros (<http://www.aeros.com/>)

その他

1/4-13 Houston Boat Show 通常の入場料大人10ドル子供12歳以下4ドル。Reliant Center駐車場料金\$5。1000以上のボートやRV(レジャーカー)が展示される予定になっています。日本ではなかなか見られないRVを見に行ってみませんか? www.houstonboatshow.com/

1/21@10am Annual MLK パレード(Taft Street東のAllen Pkwy から Houstonダウンタウンへ)今年もダウンタウンでDr. Martin Luther Kingのお誕生日を祝います。パレードのほか、ブラスバンドコンテストやフェスティバルなどもあります。 <http://www.mlkgrandeparade.org/>

11/25 -1/17 Ice Skating at Pearland Town Center 本物の凍水でできた野外スケートリンクでお子さんやスケートを楽しみませんか? 入場料一律10ドル(スケート靴貸し出し込)。 <http://www.pearlandiceskating.com/>

1/13 Chevron Houston Marathon 毎年恒例のヒューストンマラソン。今年こそ参加してみませんか? <http://www.chevronhoustonmarathon.com/index.cfm>

1/23-27 Houston Auto Show Lots of new cars, lots of hawking vendors, lots of chances to win free things you didn’t want in the first place. The Houston Auto Show is like an International Gem and Jewelry show, except with way more camouflage. (That, my friends, is what we in the business refer to as a “callback.”) <http://www.houstonautoshow.com/>

編集後記

今年も12月、オフィスや街にクリスマスツリーやリースが飾られて年末の雰囲気が高まっています。でもそれはクリスマスプレゼントや御歳暮の季節ということでもあり、何を選ぶかには毎年苦労します。今年も頭が痛いなど思っていたら、妻が「クリスマスプレゼントに何が欲しい?」と言うので、これ幸いと「お歳暮を選んで送るのを一人でやってくれるというサービスが欲しい。」と答えたら、憤慨されてしまいました。

良いアイデアと思ったのですがね。(市川 真)

先日トル会合でゴルフストリームという名前のカクテルをいただきました。水色の、味も見た目にもさわやかな飲みものです。散会后駐車場に戻ると車がありません。タウンアンドカントリーに車を止め、隣接するシティセンターで何やかやしていますとレッカー車のお世話になるのだそうです。思わず5コマの顔になりました(知っとな? 物語Vol.39)。皆様にはどうぞ楽しい年末年始をお過ごし下さいませよう。

(ストレイフ真理子)



最近、日本での医学関係の仕事が忙しく、ゴルフストリームの編集には全く関わっていませんので、編集後記を書く資格もありませんが、今回でゴルフストリームの編集委員を辞退したいと思います。長年皆さまに色々ご指導頂き、どうもありがとうございました。我が家のオーディオルームに所蔵しているクラシックCD、LP、DVD約7~8000枚ジャズ CD、LP、DVD約2~3000枚の中から、以前クラシック伝説の名演奏、ジャズ伝説の名演奏シリーズを執筆したのが懐かしく思い出されます。オペラのCD、LD、DVDも約1000枚ありますので、オペラ入門編やオペラ伝説名演奏・舞台のシリーズを医学関係の仕事からリタイヤー後、いつか執筆したいと考えています。(杉田洋一)

ゴルフストリームは毎月15日発行です。

発行 : ヒューストン日本商工会
発行責任者 : 岡野 夏井
編集委員長 : 市川 真
構成・編集 : 前田 正子
印刷 : Sel-Fast Printing Copies & Laminating (713) 782-2000